

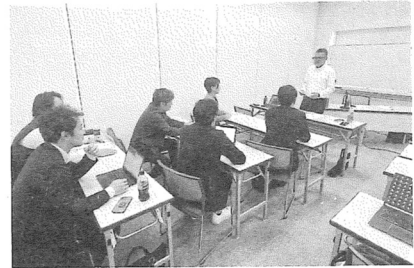
「商習慣見直し」で協議 提言書の作成へ

広島県鉄構工業会・青年部会

度の主要事業「古い商習慣の見直し」の内容について協議した。

同事業はファブ業界の古い慣例を見直し、業務の効率化を図るための提言を策定するもの。これまでの提案では①建方現場のボルト軸力検査②中ボルトの孔径について、板厚6ミリの鋼板に対するUT探傷③ガセツトプレートの形状に合わせたフランジの片刃落とし加工④工場立ち会い検査時のテープ合わせ⑤手形取引などが見直しの対象として挙がっている。

広島県鉄構工業会の青年部会（会長Ⅱ光村圭介・ミツヤ工業常務）は12日、広島市中区のRCC文化センターで幹事会を開き、今年



「古い商習慣の見直し」で提言へ

下、ファブ業界でも業務のDX化や省力化が求められる中で必要のない古い習慣を見直す「きつかけづくり」を目的とした事業で、来年8月までに提言書を作成する予定だ。

光村会長は「建築法規に関わる内容もあるため、すぐに変更につながることはないが、固定概念にとらわれず、積極的に意見や提言をしていきたい」とし、「今後は他県の青年部や構造設計者などの意見も取り入れたい」と方針を示した。